

【File No. 7 | 串原郷土館 くしはらきょうどかん】



江戸時代の形態をよく残す郷土館の内部

串原郷土館は、矢作ダム(1971(昭和46)年完成)によって水没した串原久木地区の安藤家の住宅。水没家屋の代表的なものとして旧串原村が寄贈を受け、大野公園に移築して、1968(昭和43)年に郷土館として公開された。内部には、当時の村民の協力で収集された民具や歴史資料が収蔵展示されている。1979(昭和54)年には、串原村指定文化財になった。

建物は江戸末期の建築で、木造茅葺き平屋建て、向かって左半分を土間と厩とし、右側に居室を田の字形に配している。内部はほとんど変更されておらず、建築当初の構造をよくとどめている。

江戸時代の農家建築の事例として価値が高いばかりでなく、水没した矢作川沿いの10地区60世帯の建物の中で唯一現存する住宅としても、歴史的に貴重な建造物である。

ひとロメモ

本年度から指定管理施設となり、NPO 法人奥矢作森林塾が管理運営している。指定管理者により収蔵資料の調査とデータの整理が進められており、その成果が期待される。見学の問い合わせは、奥矢作森林塾 ☎ 52-2411 まで。

恵那写真館

私の大好きな1枚
(撮影地：中野方町)

中野方町 池戸初男さん



日本棚田百選に選ばれた中野方町坂折の棚田。棚田と笠置山の冬の景色が素晴らしい写真です。



棚田と笠置山

皆さんの
大好きな風景を
気軽に応募く
ださい！

□応募方法 写真か画像データと①住所②氏名(ふりがな)③電話番号④題名⑤写真の場所(町名)⑥お薦めの理由(70字以内)一を記入した用紙を持参するか郵送、電子メールで企画課広報広聴係へ提出する。

次号は
1月1日号
発行日は
12月20日(金)です

広報えな No.210

2013年(平成25年)
12月1日発行

発行 恵那市役所/編集 企画課広報広聴係
〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1
☎(0573)26-2111/☎25-6150/(IP電話)050-5808-9521
<http://www.city.ena.lg.jp/> ☒ info@city.ena.lg.jp

『広報えな』12月1日号、
1部当たりの印刷経費は
約10.7円(税込み)です。



◀市ウェブサイト
(閲覧用QRコード)
あなたの知りたい情
報を分かりやすく提
供しています。



◀市メール配信サービス
(登録用QRコード)
音声告知放送の文字版ページ
(閲覧用QRコード)
問 防災情報課(内線317)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。またインキは石油系ではなく、地球に優しい植物油を使用したもので印刷しています。

